

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2015-69446(P2015-69446A)

【公開日】平成27年4月13日 (2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-024

【出願番号】特願2013-203445(P2013-203445)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/22 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/22 1 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月27日 (2016.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検査の結果を示す検査値の時系列をグラフ化して表示する表示装置であって、
前記検査値を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段から読み出された検査値をグラフ化する制御部と、
前記制御部でグラフ化された検査値を表示する表示部と、を備え、
前記記憶手段は、検査項目毎に対応した検査値を時間軸情報と共に格納する検査データ格納部と、前記検査データ格納部に格納された検査項目のうち異なる検査項目間で同一検査種別であることを関連づける関連情報を格納する関連情報部と、を有し、
前記制御部は、前記検査データ格納部から複数の検査項目の検査値を読み出し、前記関連情報部に基づき同一の検査種別の異なる検査項目間の検査値をつなげて時系列的に折れ線表示としてグラフ化させることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記制御部は、同一の検査種別の異なる検査項目のそれぞれの基準値を表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記制御部は、同一の検査種別の異なる検査項目の検査値を検査項目ごとに異なる表示としてグラフ化させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記制御部は、基準値の上限値及び下限値の表示位置を検査項目の違いにかかわらず同じ位置とするグラフ表示を行うことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 5】

検査の基準値が異なると、同一の検査種別においても異なる検査項目として前記検査データ格納部に格納されることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記制御部は、基準値が異なる検査データ毎にグラフの折れ線表示を変更して時系列的に表示させると共に、時系列的に分断されたデータ間を補間して線をつないで 1 つの折れ線グラフに表示させることを特徴とする請求項 5 に記載の表示装置。

【請求項 7】

検査会社が異なると、同一の検査種別においても異なる検査項目として前記検査データ格納部に格納されることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記制御部は、各会社の検査データをグラフの折れ線表示を変更して時系列的に表示させると共に、時系列的に分断されたデータ間を補間して線をつないで 1 つの折れ線グラフに表示させることを特徴とする請求項 7 に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記補間したグラフは時系列的に過去のグラフと同じ線の表示が行われることを特徴とする請求項 6 または請求項 7 に記載の表示装置。